

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業（がん政策研究事業））
分担研究報告書

小児がん経験者に対する長期的支援の在り方に関する研究

研究分担者 金子 隆 東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科

[研究要旨] 小児がん経験者に対する長期的支援に関する実態調査の一つとして、教育環境を重点にあげた。その実態調査として、当院における院内学級の教育環境についての調査を行った。院内の教育環境に関しては、ベッドサイド授業を行う教員の配置に関しては、ある程度充実していると考えられた。IT活用事業に関しては、ベッドサイド授業を通してある程度出来るものの、ベッドサイドでのインターネット環境はまだ未だであり、ましてや外来に出るからの教育環境、高校生のための学習室に関しては、これらについては今後整備が必要であると考えられた。

A．研究目的

平成24年2月に小児がん拠点病院に当施設も指定されたが、小児がん医療の実態と理想の間には、依然として乖離がある。今回、小児がん経験者に対する長期的支援の在り方に関する研究の一環として病院内教育環境を見直すため調査した。

B．研究方法

研究班全体で統一した以下の項目で病院内の教育環境の実態調査を行った。

すなわち、 i) 院内学級・学校等の名称、 ii) 特別支援学校本校・分校・分教室・訪問、小・中学校の病院内の特別支援学級のうちいずれか、 iii) ベッドサイド授業の有無、 iv) 高校教育の有無、 v) IT活用事業の有無と活用事例、 vi) その他特記すべき事項、とした。

C．研究結果

i) 院内学級・学校等の名称

わかば学級（病弱児・慢性疾患）

ひだまり学級（児童思春期精神科）

ii) 特別支援学校本校・分校・分教室・訪問、小・中学校の病院内の特別支援学級のうちいずれか

東京都立武蔵台学園(特別支援学校)の分教室として東京都立小児総合医療センターの中にある。各学年毎に教室があり、理科室、音楽室、家庭科室、体育館などの設備がある。

iii) ベッドサイド授業の有無

あり。特に血液腫瘍患児の場合、治療の時々で通学が困難になるのでベッドサイド対応している。

iv) 高校教育の有無

なし。

v) IT活用事業の有無と活用事例

PC端末を用いることにより、教育用CD、DVDを用いて教育、勉強が出来ないときでも気分転換を行っている。

また、iPadなどWi-Fiを利用した機器については許可されておらず今後の課題である。

D．考察

当センター内の東京都立武蔵台学園わかば学級では、常に40-50名が在籍し、病弱児教育を行っている。その約半数が小児がん関連の入院患者である。

東京都立小児総合医療センターのわかば学級は、からだの病棟全体の設備であるため、その所在は病棟から離れたところにある。小児がん患者の易感染性からは、分教室に通学することが困難な症例が多いことが問題であるであるが、子ども同士のふれあいを大切に、発熱時や治療を行っている時以外はなるべく登校させるようにしている。アクセスの問題としては、車いすでの通学に関して、教員が通学児童を毎朝迎えに来ることも有り、その補助が得られ非常に助かっている。

医療制度上、院内の平均在院日数を減少させることを求められるため、入院から外来にシフトする症例が多くなっている。治療の合間に自宅に帰す様にはしているが、学童については週末の退院のみとなっている。この時期に、本籍校に通学し発熱などがあると、次の治療にさしつかえ、ひいては疾病の治癒に影響するため、週間の退院時でも自宅待機となる症例がほとんどである。そのため、自宅でも授業が受けられるようなシステムを構築することも今後の大きな課題となるであろう。

自宅から外来ベースで院内学級に通学する場合には、感染症に対する対策が必須となり、院内学級に感染症を持ち込む可能性はなくさなければならぬ。この点で当院では、外来からでも院内学級に通学することが未だ出来ていないがこの点を克服する必要がある

短期の入退院を繰り返す場合についても、本

人・保護者の意思があれば、学籍を戻さずに教育を受けることが可能なシステム作りを検討し、自宅への訪問教育を行うことも可能になるよう検討する必要がある。

小中学生の学習環境は、小児病院である当院ではあるが、各学年に1室が当てられており十分な施設はあるが、管理が病院ではなく学校自体であるため時間外の対応が十分に出来なく、この点での環境整備も必要と考えられる。

E．結論

小児がん拠点病院としての当院の院内学級の教育環境についての実態調査の一環として、調査を行った。院内の教育環境に関しては、ある程度充実していると考えられた。しかし、IT活用事業を含め、外来に出てからの教育環境、高校生の学習に関しては、今後整備が必要であると考えられた。

F．健康危険情報

なし

G．学会発表・論文発表

なし

H．知的財産権の出願・登録状況

なし